

プランクトン調査結果のお知らせ

平成26年6月17日、野見・須崎湾のプランクトン調査を行いましたので結果をお知らせします。

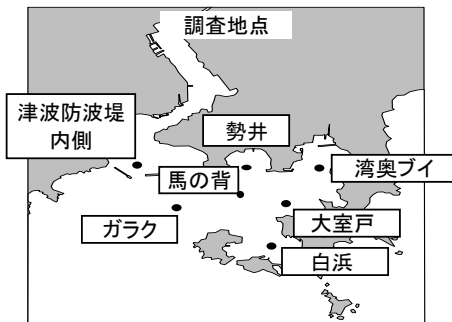
検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモトイが最高で2,550cells/ml、カレニア・パピリオナセアが最高で31cells/ml、ケラチウム・フルカが最高で70cells/ml確認されました。

天候が回復すると赤潮原因プランクトンが現状より増加する可能性があります。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	カレニア・パピリオナセア	ケラチウム・フルカ	珪藻類		
湾奥ブイ	0m	0	5	7	3,000		
	2m	1	5	10	1,300		
	5m	2,550	20	70	1,550		
大室戸	0m	19	21	17	733		
	2m	16	5	25	925		
	5m	109	31	41	1,100		
白浜	0m	245	3	10	2,425		
	2m	141	5	6	700		
	5m	1,375	7	12	1,200		
馬の背	0m	9	8	10	2,150		
	2m	17	8	26	2,275		
	5m	139	12	20	975		
ガラク	0m	8	4	21	1,775		
	2m	9	7	14	2,500		
	5m	96	5	22	1,075		
勢井	0m	16	9	11	2,300		
	2m	18	15	13	2,050		
	5m	11	3	15	1,275		
津波防波堤内側	0m	1	2	0	6,650		
	2m	1	6	1	6,500		
	5m	0	0	2	750		
白浜	3.7m	1,700					



**漁業被害が想定される細胞密度**

- カレニア・ミキモトイ(へい死): 数百～数千cells/ml
- カレニア・パピリオナセア: 赤潮発生時(へい死)
- ケラチウム・フルカ: 100cells/ml(餌食いの悪化)

「プランクトン調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>